

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【書 写】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「見つける」「確かめる」「生かす」などの段階に分け学習を進めることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。	P4
	(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、身近な硬筆文字の比較から課題を発見させたり、話し合い活動を通して、振り返りをさせたりする工夫が見られる。	P50
	(3) 学習効果や使用上の利便性については、毛筆の学習内容を同じ位置に配置したり、利き手を配慮した書き込み欄を設けたりすることで、円滑に活動できる工夫が見られる。	P52 P54
	(4) 文字文化への関心をもたせるために、各学年に文字文化コラム「文字のいずみ」を位置付け、文字の歴史や用具・用材、手書き文字と活字、社会の中で使われる手書き文字など、我が国に息づく文字文化を幅広く取り上げたり、3年間を通して文字文化を継承・発展させたりする態度を養う工夫が見られる。	P19 P28 P61
15 三省堂	(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「確かめる」「見つける」「振り返る」などの段階に分け学習を進めることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。	P4
	(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、便箋、封筒、はがきなどの書式等を用いて実生活に近づけようとする工夫が見られる。	P65 P82
	(3) 学習効果や使用上の利便性については、硬筆教材の書き込み欄を多く設けたり、自分が学習したことを最後に書き留めたりすることで、到達度を確認できる工夫が見られる。	P54 P56
	(4) 文字文化への関心をもたせるために、文字の変遷や古典等をテーマにした「学びを広げる」を設け、単元の一つとして、現代まで続く文字の歴史や文化を学習に取り入れている。また、「文字文化の豊かさ」で文字に関わる仕事に就いている人へのインタビューを掲載し、文字文化との関わり方を考えさせる工夫が見られる。	P72 P74

17 教育出版	<p>(1) 単元の配列については、習得した知識や技能を基に多様な学習活動や日常生活の場面を想定した言語活動を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各教科等とのつながりを意識し、自然な形で教科横断を図ろうとする工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、毛筆教材を右側に配置することで見やすくするとともに、真上からの撮影動画を用いた学習ができる工夫が見られる。</p> <p>(4) 文字文化への関心をもたせるために、「季節の行事と書写」や「短冊と色紙」などのコラムでは、各単元の学習内容に応じて身の回りで見かける文字の表現や、古典文学等の我が国の歴史と文字文化の関わりについて触れている。また、先人の書や城址写真等の多角的な文字資料を掲載する等の工夫が見られる。</p>	<p>P58 P78</p> <p>P68</p> <p>P60 P61</p> <p>P34 P38 P94</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「考える」「確かめる」「生かす」などの段階に分け学習を進めることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「文字を使い分ける」等を用いて、文字への関心を高めようとする工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性については、硬筆教材を別冊にしたり、QRコードを毛筆教材と同じページに掲載したりすることで、個に応じた学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(4) 文字文化への関心をもたせるために、身の回りにある文字を取り上げたマップ、ユニバーサルデザイン書体を扱ったコラムなどをおして、生徒の視野を広げ、興味・関心を喚起しようとしている。また、QRコードを掲載し、多彩な資料を授業ですぐに生かせる工夫が見られる。</p>	<p>P36</p> <p>P84</p> <p>P1 P78</p> <p>P98</p>